令和５年２月６日

令和５年度松阪市一般会計当初予算

番号	4
事業名	松っ子チャレンジ応援事業
予算額（主な支出）	① 不登校・いじめ対策事業費　（58,267 千円） ② 不登校生徒進学支援金給付事業費　（1,000 千円）
特定財源	① 生活困窮者就労準備支援事業費等補助金（4,236 千円） ② 不登校生徒進学支援基金繰入金　1,000 千円
事業の概要	① 不登校対策について、児童生徒一人ひとりの実態を的確に把握するとともに、個々の実態に応じた適切な支援の充実等、迅速かつ重点的に推進する。 ② 通信制高等学校と連携している技能連携校・サポート校（市内に限る）に進学する生徒に対し、当該技能連携校・サポート校に要する授業料等の一部を給付する。 利用者１人につき、年１回５万円とし、通算３回までとする。（計 15 万円）
事業の背景など	① 長期化するコロナ禍における不安や制限のかかる生活へのストレス、学習や進路への不安、友達との人間関係など様々な要因で不登校児童生徒が急増しており、相談体制や学力保障の取組をより充実したものとするためには、組織的な対応が必要である。 ② 通信制高等学校の授業料等は、国の高等学校等就学支援金制度が創設されているが、技能連携校・サポート校の授業料等については国県の支援制度が存在しないため、経済的負担を軽減する支援策が必要である。 このたび、篤志家から寄附があり、松阪市の学校教育充実のため、特に辛い思いをしている子どもたちの社会的自立に役立ててほしいとの意向から、不登校生徒進学支援基金を造成し、事業運営を図っていく。
目的・効果など	①「不登校の未然防止」「居場所づくり・教室復帰支援」「ICT を活用した支援」の３つを柱とした「いきいき学校プロジェクト」（不登校児童生徒支援計画）に３年計画で取り組んでおり、令和５年度は２年目となる。 ② 中学校を卒業する不登校生徒が自らの夢や学びに向かう歩みを応援することで、すべての子どもたちの社会的自立の実現を目指す。また、教育委員会と技能連携校・サポート校が連携することにより、中学校卒業後のフォローを行っていくことが可能となる。
事業スケジュール	① R5.4～　学識経験者を招聘しての教職員を対象とした研修会の実施 ② R5.4～5 末　申請受付、　R5.6 審査・決定、　R5.7 支給
添付資料	① ② あり
備考	なし
担当課	① 教育委員会事務局　学校支援課　電話 53-4403 ② 教育委員会事務局　教育総務課　電話 53-4380